



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グラウンドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

取材先

◇ 休泊地区 太田市グラウンドゴルフ協会休泊支部
「竜内公園清掃活動」



休泊支部について

太田市グラウンドゴルフ協会に登録し9地区からなる休泊支部は、総会員95名で来年25周年を迎える。各クラブの活動のほかに年13回の大会を行っていたが、コロナの影響で大会は全て中止。クラブの活動もできなくなっていたころ、特にひとり暮らしの会員さんから「練習が出来なくなり、人と顔を合わせることがなくなった」、「話す相手がない」などの声が多く寄せられたので、コロナ対策を充分に取ったうえで活動を再開。中止になった大会も大勢の人が集まらないように小規模の記録会に変更して活動を継続している。会員さんたちには、大変喜んでもらっている。

永原胤明さん（ながはらたねあき）74才 休泊支部の支部長

会員になってから今年で10年目で、3年前に支部長になった。始めたきっかけは、会社勤めとしていたころ営業職をしていて人と話すことも多かったが、退職後、外出して人と話す機会が少なくなっていた時期に、近所の人に誘ってもらった。いまでは人と会って会話をすることの大切さを身をもって感じている。

活動を続けていて良かったことは、「人と会っていろんな話ができること」

武藤桑太郎さん（むとうくめたろう）87才 龍舞一区の最高齢者！

中学校の先生を退職してから区長を4年、更生保護司を16年務めた。その後、龍舞一区のクラブに参加するようになったので、まだグラウンドゴルフは2年のキャリア。

週2回の練習がない日は、竜内公園の前にある畑仕事をしている。家で食べる分ぐらいしか作っておらず、食べきれない分はご近所さんにおすそ分け。武藤さんの元気の秘訣は、「畑仕事！」とのこと。

以前、区長をしていた時に区長代理と相談し竜内公園に桜の木を植える計画を立て、住民から募金を募り30本の木を購入。地域の人たちと一緒に桜の木をみんなで公園に植えた。「この公園で花見をしながら地域の人たちが集まっている光景を見るのは感慨深い。」と武藤さんは言います。

裏面へ続く



地域のお宝発見～太田市生活支援体制整備事業～



倉持明子さん（くらもちあきこ） 80才

長年、埼玉県浦和市に住んでいたが、67才の時に息子と一緒に太田市へ越してきた。浦和には仲間がたくさんいて、その仲間のことを息子さんは「お母さんの宝物だね」と言ってくれていた。その仲間と離れ、当時はどうしようかと思っていたが、「とにかく外へ出よう」といろいろな地域の活動の場へ飛び込んでみた。（グラウンドゴルフ、絵手紙、フラダンス、麻雀、バレエ、テニス）「そしたら、太田市でも宝物ができた！」と笑顔で話してくれました。

小内明代さん（おないあきよ） 72才

グラウンドゴルフを通じて、倉持さんと知り合ったお仲間さん。「知り合ってから、べったり仲良し」と二人で腕組みしながら話してくれました。日ごろの二人のお付き合いは、倉持さんちの庭の草むしりを小内さんが手伝って、小内さんちの畑仕事を倉持さんが手伝い、できた野菜を分け合っている。他にも、倉持さんの運転で一緒に接骨院へ行ったり、GOTOトラベルを使って四万温泉へ行くなど、倉持さんが「日本全国どこへでも！」と色々な所へ一緒に出掛けている。「もちつもたれつよね～」、「そうよね～」と、とても明るく話してくれました。



休泊支部のみなさんが集まって清掃活動を行うことで、会員同士の親睦も深まり、地域貢献もされている。また、コロナ禍で活動が自粛中でも会員同士の「つながり」を切らさないように活動内容を縮小して感染予防対策を取りながら継続していることで、お互いの見守り見守られ、支え合いに繋がっている。

チェックポイント

- ・人と人が顔を合わせてコミュニケーションをとる重要性
- ・コロナ禍でも活動内容を変更して対応する柔軟性
- ・グラウンドゴルフ（趣味）の仲間で協力して行う地域貢献活動！



詳しくはこちら



お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで！